

平成 26 年 11 月 18 日

環境部 環境政策課

平成 26 年度版「とよはしの環境」の発行について

豊橋市の環境の状況や環境行政の推進状況等について、市民や関係者等に幅広く知っていただくための資料として「とよはしの環境」を発行しましたので、その概要をお知らせします。

— 環境の状況(平成 25 年度実績) —

1. 自然環境の概要

(1)アカウミガメの産卵状況(P.23)

○上陸回数:132 回、産卵巣数:71 巣

【参考】平成4年度からの平均

上陸回数:106 回、産卵巣数:62 巣

■調査開始以降、過去最高値を記録した平成 24 年度に比べ、上陸回数・産卵回数とも半分以下に減少したが、平年より高い数値であった。今後もふ化場(保護柵)の活用や、自然観察会等による啓発活動を通じ、アカウミガメの保護対策を実施していく。

2. 生活環境の概要

(1)大気環境の状況(P.34～46)

○市内7か所の測定局で大気汚染測定を実施した。

- ・光化学オキシダントを除く全ての項目において環境基準を達成した。
- ・光化学スモッグ予報の発令 3 回(7 月 1 回、8 月 2 回)
- ・PM2. 5の注意喚起情報の発令 なし

■測定の結果は概ね良好であった。

(2)水環境の状況(P.47～70)

○市内 54 地点の水質調査を実施した。

- ・重金属などの健康項目については、全ての地点(河川 15 地点、海域 4 地点)で環境基準を達成した。
- ・梅田川は、平成 15 年度以降 11 年連続で環境基準を達成した。

■調査の結果は概ね良好であった。

3. 廃棄物の概要

(1) ごみ量の状況(P.97)

- 市関与ごみ量 140,851トン(24年度比 0.7%増)
- ・家庭収集ごみ 89,108トン(24年度比 1.1%減)
- ・事業系ごみ 43,494トン(24年度比 5.1%増)
- ・市民1人1日当りごみ量(※) 764g(24年度:775g/11g減)

※家庭収集ごみと持ち込みごみの一部、資源回収量を加えた家庭系ごみを人口割したごみ量

■家庭収集ごみのうち、もやすごみが1,213トン減少するなど、市民1人1日当りごみ量も減少しているが、市が目標とする727g(平成32年度)までは更なる減量が必要である。

(2) 資源リサイクルの状況(P.98)

- 資源化量 28,223トン(24年度比 2.7%減)
- リサイクル率 19.3% (24年度比 0.8ポイント減)

■本市の資源回収の中心である地域資源回収が3年連続、リサイクルステーションが2年連続で回収量が減少し、特に古紙の回収量が年々減少している。一方、資源物の持ち去り防止対策を講じ、びん・カン資源化量も増加となった。また新たに小型家電の回収を開始するなど、リサイクル率の向上に積極的に取り組んでいる。

(3) ごみ処理費用の状況(P.11)

- 清掃費用総額 5,139,394千円(24年度比 2.1%減)
- ・ごみ処理 4,788,520千円(24年度比 2.7%減)
- ・し尿処理 350,874千円(24年度比 8.3%増)

■市民1人1当たりのごみ処理費用は11,058円で、24年度の10,837円から増加となった。し尿処理費用は、好気酸化槽改良工事等の建設改良費が増加したため、24年度より増加となった。

4. 閲覧場所(予定)

- 豊橋市ホームページ
URL: <http://www.city.toyohashi.lg.jp/8392.htm>
- 環境政策課、じょうほうひろば、中央図書館